

研究課題名

動物由来感染症起因菌の病原性に関する微生物研究

研究の概要

動物からヒトへ、ヒトから動物へと伝播する動物由来感染症は全ての感染症のうち半数以上を占めるとされている。その実態を把握するためには、ヒト由来のみならず動物由来の病原体を収集し比較検討することが必要であり、ヒト・動物間での伝播の可能性やリスクについて評価することが求められる。

研究自体は主に豚レンサ球菌、ロドコッカス属菌の動物由来株を対象とするが、一部患者由来株も加えて、病原遺伝子検索、薬剤感受性試験、ゲノム解析等を行う。また、病原性に関与するプラスミドの解析や、病原性に関与する新規遺伝子などの探索を行う。積極的疫学調査事業において行政検体として搬入された菌株とその疫学情報、または既に下記学術論文において発表済みの菌株・疫学情報を用いる。

1. Takai *et al.* 2003 Molecular epidemiology of *Rhodococcus equi* of intermediate virulence isolated from patients with and without acquired immune deficiency syndrome in Chiang Mai, Thailand. *J. Infect. Dis.* 188:1717-1723.
2. Takai *et al.* 2020. Reinvestigation of the virulence of *Rhodococcus equi* isolates from patients with and without AIDS. *Lett. Appl. Microbiol.* 71:679-783
3. Takai *et al.* 1994. Virulence of *Rhodococcus equi* isolates from patients with and without AIDS. *J. Clin. Microbiol.* 32:457-460

研究期間

令和3年度から令和5年度まで

研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター
所長 吉村 和久

研究責任者の氏名

微生物部病原細菌研究科
久保田 寛顕

オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。